



新たな遺伝性疾患「CD(牛コレステロール代謝異常症)」

はじめに

2015年7月、牛の遺伝的能力評価に関する国際会議においてドイツのグループからホルスタイン種の新たな遺伝性疾患(遺伝的不良形質)が報告されました。この遺伝性疾患はCD(当初はHCD)と名付けられ、原因となる遺伝子が世界中に広まっていることがわかりました。国内でも発症牛が確認され、すでに対策も始まっています。

症状

ドイツの報告は、発症牛の特徴的な症状として原因不明の慢性下痢が見られ、いかなる治療でも改善が見られないこと、また二次疾患として肺炎や浮腫、発育不全が見られ、発症子牛は3週間から6ヵ月で死亡することでした。また、当該子牛の体高は正常だったものの体重は36.5~59kgでした。

国内発症例においてもドイツと同様の症状が確認されており(写真)、CD発症牛は、生後ある程度まで生存する場合が多く、治療可能な感染症などと区別しにくいことなどから長期の治療を行うケースが多く、畜主への負担が重く、重大な疾患であると報告されています。

国内の対策

CDは今までに見つかった他のホルスタイン種の遺

伝性疾患に比べ、

①国内を含め世界的に保因率が高い。

②発症牛が与

える畜主への負担が大きい。

③海外のハプロタイプ検査の精度が低い。

ことなどから、家畜人工授精事業体協議会(JAAB)は、国内の供用種雄牛および候補種雄牛の遺伝子型検査が終了した時点で、

①保因種雄牛の公表と精液の販売停止を行う。(図)

②選抜される種雄牛からは保因牛を排除する。

③保因牛は後代検定に参加させない。

ことを申し合わせました。

また、それに合わせて家畜精液輸入協議会(SIC)でも、今後、輸入精液での保因牛の扱いについて慎重な対策をとる予定になっています。これにより、今後は国内において保因種雄牛精液の流通に制限がかかることになり、CDによる被害が減少する見込みです。



写真：国内における発症牛

(左：44日齢、右：3ヶ月齢、提供：帯広畜産大学)

図：国内で選抜、販売された保因種雄牛

Code	NAME	Code	NAME	Code	NAME	Code	NAME
JP3H53507	ストークラント DD シュー マツル	JP3H54233	リツタ イロスタ-リド マン ET	JP3H55080	エンデ バ- ジ ュ デイヴ オイス	JP5H55103	J リド' コスモ フラウト テレサ
JP3H53580	OK タイタニック アミ- ET	JP3H54111	KDC プ リツシ ヲツク ET	JP3H55409	レイト スタ- アレキサンダ- クラリネット ET	JP5H55340	ウチ ロミオ バ-ム ロンリ-
JP3H53959	ヘンカシヨ-ル ド リム	JP3H54800	レド' イスマ- アレジヤ- ET	JP5H53437	スノ-ライト TKE レジ スタス	JP4H53995	WHG ゴ スト- ト リスト ET
JP3H53999	ジ レット ティ-ウイ-ブ スパ- クリツク ET	JP3H54828	グ リンハイヴ レガ リア ET	JP5H53747	ハイブ リツツ' レオ ファンタジスタ ET		
JP3H54002	フォレストニア- プリツツゴ-ルデン ET	JP3H54836	ラブ レビ'ンテ-ジョン バ' ルスト RED ET	JP5H55145	NLBC イグド ラシル カ-ライル		
JP3H54030	オムラ スイ-テイ- アツクス ET	JP3H54970	ベ' イリヤランド' イグザイル ET	JP5H54977	ティ-ウイ-ブ' GIB トッパ' セビ'ド' RED ET		

詳細は岡山種雄牛センター(電話 0868-57-2475)四宮、安積までお問い合わせください。



おいしい酪農経営!!

第8回

キャッシュフローを計算する(3)

全国酪農業協同組合連合会
購買部酪農生産指導室課長

たんと やすし
丹戸 靖氏

先月に引き続き、キャッシュフロー(牧場が生み出した現金)について触れます。今回は、実際のキャッシュフローの計算方法です。お手元に確定申告で作成した損益計算書を準備して、ご覧ください。

損益計算書には、勘定科目の左側に番号が付けられています。それらの番号を参照してください。簡易的にキャッシュフローを計算するのに必要なのは、以下の4項目です。

- ③⑥・・・差引金額
- ②⑩・・・減価償却費
- ②⑥・・・廃用牛売却原価
(②⑥は空欄スペースですので、各自の該当金額を利用してください)
- ③④・・・育成振替高

③⑥は総収入から総費用を差し引いた「粗利」です。この金額に現金の支出を伴わない経費②⑩と②⑥を上乗せします。

次に、現金は支出しているのに経費にならない金額③④を差し引きます。式で表すと下記の通りです。

$$\text{フリーキャッシュ}(\text{牧場が1年間に生み出した現金}) = \text{③⑥} + \text{②⑩} + \text{②⑥} - \text{③④}$$

ちなみに、一昨年の全国平均額を経産牛1頭あたりで計算してみますと・・・

③⑥・・・差引金額	175,307 円/頭・年
②⑩・・・減価償却費	145,763 円/頭・年
②⑥・・・廃用牛売却原価	40,891 円/頭・年
③④・・・育成振替高	△ 73,280 円/頭・年
フリーキャッシュ	288,681 円/頭・年

この中から借入金の償還と家計費を支出することになります。皆さんの牧場が生み出した現金は、平均よりも多かったでしょうか？